

**記入例(給付/転学)**

提出前に記入漏れや誤記入がないか確認のうえ、記入後は速やかに転出校へ提出してください。  
※本人署名欄以外は予め学校で印字または記入して作成しても構いません。

**④転出校情報**  
・転出する学校名と学部学科等の名称およびその過程の年数(何年制)を記入してください。  
・転出時における年次および卒業予定期を記入してください。  
・最終在籍年月日を記入してください。

[ 給付様式 6 ]

**転学奨学金継続願**

(同一学校種間の学校の異動)※旧編入学の1の扱いを含む

独立行政法人  
日本学生支援機構理事長 殿

- 転学前直近の適格認定(家計)を転学日時点の生計維持者で未実施の場合は、本願出を提出できません。
  - 収入基準により「停止(支援対象外)」中の場合は、本願出を提出しても原則継続が認められません。
- 不明点は学校に確認してください。

下記のとおり転学しましたので、引続き奨学金給付の継続をお願いします。  
なお、確認書及び日本学生支援機構に関する省令等の規程に定める取扱いに従うことを誓約します。

③奨学生番号  
11桁で正確に記入してください。

提出日 ※1	西暦 20 26 年 4 月 10 日
生年月日	西暦 2005 年 10 月 1 日 (満 20 歳)
フリガナ	ショウガク ジョウ
氏名(自署) ※2	奨学 次郎

奨学生番号(給付奨学金)	5 2 X 0 4 X X X X X X
--------------	-----------------------

※貸与奨学金は、別途、願出の作成が必要です。

学校名		学部・課程	標準修業年限 ※3	学年・卒業予定期 ※4	転学年月日 ※5
転出校	育英大学	経済学部	4 年	第 2 年次 当初の卒業予定期 (西暦) 20 28 年 3 月	(西暦) 20 26 年 3 月 31 日 まで在籍
転入校	学生支援大学	経済学部	4 年	第 3 年次 卒業予定期 (西暦) 20 28 年 3 月	(西暦) 20 26 年 4 月 1 日 より在籍
学籍番号	20240202	全定通	<input checked="" type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜 <input type="checkbox"/> 通信 ※昼夜開講は昼を選択	学部コード(学校記入)	2 0 0 6

転学時点のあなたと生計維持者(原則父母)の資産の額を以下にそれぞれ記入してください(1万円未満切り捨て)。資産額が0円の場合も空欄とせず『0』と記入してください。  
資産額の合計が基準額以上の場合は、本願出を提出しても継続不承認となります。

あなた	10	万円	生計維持者①	500	万円	生計維持者②	200	万円	合計	710	万円
-----	----	----	--------	-----	----	--------	-----	----	----	-----	----

- 在籍報告の提出(入力)対象の場合、表示されている在籍校にかかわらず、「在籍しています」を選択し、スカラPSを通じて在籍報告を提出(入力)してください。
- ※提出対象ではない場合、追って生計維持者情報及び資産情報等の報告が必要となります。詳細は転入校に確認してください。

■ 転出校記入欄 (該当を  で選択)

通学形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自宅外通学 <input type="checkbox"/> 自宅通学
理工農系※私立学校のみ (転出前の学部(学科)について記入してください)	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
誓約書提出	<input type="checkbox"/> 誓約書機構提出済み(2020年度採用者のみ)
適格認定(学業)	<input type="checkbox"/> 廃止(学校処分を含む) <input type="checkbox"/> 停止 <input type="checkbox"/> 警告 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
適格認定(家計)	<input type="checkbox"/> 支援対象外のため「停止」中 <input checked="" type="checkbox"/> 左記以外
休学のまま転学	休学日: 年 月 日
転出校の課程	<input checked="" type="checkbox"/> 修了(卒業)していない ※修了(卒業)している場合は、本願出の提出不可。

●在籍報告の提出(入力)対象の場合は、提出指導を行ってください。

■ 転入校記入欄 (該当を  で選択)

通学形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自宅外通学 <input type="checkbox"/> 自宅通学
理工農系 ※私立学校のみ	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
単位の引継ぎ	<input checked="" type="checkbox"/> 引継ぎあり ※単位の引継ぎがない場合は、本願出の提出不可。
確認大学等	<input checked="" type="checkbox"/> 確認大学等に該当

●在籍報告の提出(入力)対象の場合は、提出指導を行ってください。

※【該当者のみ】以下を本願出と同時に提出する場合は、本願出にホチキス留めし提出してください。

通学形態を変更する	<input type="checkbox"/> 同封 (給付様式2-1または給付様式35および自宅外証明書類)
振込口座を変更する	<input type="checkbox"/> 同封 (様式4奨学金振込口座変更届)
休学中 (転出校から引続き休学)	<input type="checkbox"/> 転出校で奨学金が休止中であつた者が、転入校でも引き続き休学の場合はチェックをしてください。

※転入校で奨学金が休止中であつたものは、本願提出を以て奨学金を復活します。  
転入校で引き続き休止する場合は、上記「休学中」にチェックをお願いします。

上記のとおり、本学から転出したことを証明します。

(転出校の証明)  
20 26 年 4 月 16 日

学校名	育英大学	電話番号(担当者名)	03 - XXXX - XXXX ( 〇〇〇 )
学校長	育英 太郎	学校番号	1XXXXX
		区分	00

上記のとおり、本学に転入したことを証明し、願出は適当と認めます。

(転入校の証明)  
20 26 年 4 月 20 日  
転学日から3か月以内に異動・補導係へご提出ください。

学校名	学生支援大学	電話番号(担当者名)	03 - △△△△ - XXXX ( △△ )
学校長	機構 次郎	学校番号	3XXXXX
		区分	00

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

異動・補導係 | 郵送必要 | 入力不可

給付

※注意事項

本願出を提出するには条件があります。詳細は別紙記入要領をご確認ください。記入要領が手元にない場合や不明点がある場合は学校に申し出てください。

①提出日

奨学生が転出校へ提出した日付を記入してください。

②氏名(自署)

必ず奨学生ご自身が記入してください。

⑤転入校情報

・転入する学校名と学部学科等の名称およびその過程の年数(何年制)を記入してください。  
・転入時における年次および卒業予定期を記入してください。  
・在籍開始年月日を記入してください。  
・転入校での学籍番号を記入してください。  
・転入校において在籍する過程(昼間、夜間、通信)に該当する項目に✓を記入してください。

⑥資産情報

転学時点のあなたと生計維持者の資産額を記入してください。  
資産額の合計が5,000万以上(多子世帯に属する場合は3億円以上)の場合は、本願出を提出しても継続不承認となります。

赤枠内は学校の記入・証明欄のため、本人記入は不要です。

# 記入要領

●転学前直近の適格認定(家計)を転学日時点の生計維持者で未実施の場合は、**本願出を提出できません。**

**【例】**  
2026年10月に大学へ転学し、B大学での給付奨学金継続を希望。転学時点において、2026年4月の在籍報告で届け出た生計維持者から変更が生じていた。

原則として、以下の①～⑥のいずれかの事由が発生していた場合は生計維持者が変更になります。

①父又は母と死別した。  
②父母が離婚し(又は離婚調停中で)別生計である。  
③父又は母がDV被害を受けている。  
④父又は母が行方不明である。  
⑤父又は母と意思疎通が困難になっている。  
⑥学生本人が両親ではなく、配偶者に扶養されている。

①～⑥のいずれか一つ  
にでも当てはまる場合

**本願出(転学奨学金継続願)を提出できません。**  
転出校で給付終了の手続きが済んだことを確認の  
うえ、  
スカラネットから新規申込みをしてください。

●収入基準により「停止(支援対象外)」中の場合は、**本願出を提出しても原則継続が認められません。**

(※1)転学前の支援区分が「第IV区分(対象外)」に該当する者が、その期間内に私立理工農系学部(学科)該当の学部(学科)に転学する場合は**継続可**。  
(※2)転学前の支援区分が「第IV区分(理工農)」に該当し、その期間内に私立理工農系学部(学科)非該当の学部(学科)に転学する場合は**継続不可**。

## ■願出全体にかかる注意事項

		【よくある不備】
	○黒又は青のボールペンで記入していますか。	×消せるボールペンや、時間の経過により字が消えるボールペンで記入している
訂正方法	○誤記入を訂正する場合は、訂正箇所全体に二重線を引いて、はっきりと読み取れるように、訂正箇所の直近余白に書き直していますか。訂正印は不要です。	×修正液や修正テープで訂正している ×塗りつぶし、なぞり書きで訂正している

## ■奨学生本人の情報

		【よくある不備】
※1 提出日	○学校に願出を提出する日を記入していますか。	
※2 本人署名	○奨学生本人が願出に直接署名していますか。	×印字されている ×願出コピーやPDFを提出

## ■学籍の状況

		【よくある不備】
※3 学校、学部・課程、学科・研究科、標準修業年限	○漏れなく記入していますか。	
※4 学年・卒業予定期	○漏れなく記入していますか。 ※カリキュラム上、学年を下がって転学した場合であっても、継続手続きができません。 ※単位を引き継いでの転学ではなく、元々在籍していた学校を退学後に、新しい学校へ改めて入学する場合は、継続願は提出できません。	
※5 転学年月日	○転出校を退学してから1年以内に転入校に転学していますか。 ※1年を経過した場合は、継続願は提出できません。  (例)2025/3/31にA大学を退学、2026/4/1にB大学に転学した場合は1年を経過しているため、継続できません。	×転出校を退学してから、1年経過後に転学した

## ■資産状況

		【よくある不備】
※6 資産額	○漏れなく記入していますか。  ※転学時点のあなたと生計維持者(原則父母)の資産の額をそれぞれ記入してください(1万円未満切り捨て)。資産額が0円の場合も空欄とせず『0』と記入してください。 <b>資産額の合計が5,000万以上(多子世帯に属する場合は3億円以上)の場合は、本願出を提出しても継続不承認となります。</b>	